

## 国立大学法人等施設の長寿命化に向けたライフサイクルの最適化に関する検討会について

平成 29 年 11 月 1 日  
文教施設企画部長決定

### 1. 趣旨

国立大学法人等は、社会変革のエンジンとして知の創出機能を最大化するため、学問の進展やイノベーション創出などに最大限貢献できる組織へ自ら転換するとともに、経営的視点で大学運営を行い経営力を強化することが求められている。

一方、国立大学法人等施設は、既存施設を有効活用しながら施設の長寿命化によりトータルコストの縮減等が求められているが、老朽化が進行し安全面、機能面、経営面で大きな課題を抱えている。

このことから、適切に施設の長寿命化を図ることにより、教育研究機能の向上と経営基盤の強化を図るため、施設の長寿命化に向けたライフサイクルの基本的な考え方や具体的な方策に関する検討を行う。

### 2. 検討内容

- (1) 施設の長寿命化に向けたライフサイクルの在り方
- (2) 施設の長寿命化のための具体的な方策や留意事項
- (3) その他

### 3. 実施方法

別紙の学識経験者等の協力を得て、2. に掲げる事項について検討する。なお、必要に応じて、ワーキンググループを設置するとともに、その他の関係者の協力を求める。

### 4. 実施期間

平成 29 年 11 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までとする。

### 5. その他

本検討会に関する庶務は、関係各課の協力を得て、大臣官房文教施設企画部参事官付において行う。

## 国立大学法人等施設の長寿命化に向けたライフサイクルの最適化に関する検討会 委員名簿

氏名	職名
齋藤 禎美	横浜国立大学 施設部長
佐藤 直樹	京都大学 理事（財務・施設・環境安全保健担当）・副学長
鈴木 康史	東京建物株式会社 執行役員ビルエンジニアリング部長 （公益社団法人ロングライフビル推進協会 企画運営会議委員）
高井 陸雄	東京海洋大学 名誉教授・顧問 （元独立行政法人国立大学財務・経営センター 理事長）
高草木 明	日本メックス株式会社エンジニアリングサービス事業本部 特別顧問 （元東洋大学理工学部建築学科 教授）
玉上 晃	九州大学 理事・事務局長
恒川 和久	名古屋大学大学院工学研究科 准教授
中西 友子	東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授・東京大学名誉教授
中埜 良昭	東京大学生産技術研究所 教授
名和 豊春	北海道大学 総長
野口 貴文	東京大学大学院工学系研究科 教授
山本 康友	首都大学東京都市環境学部 客員教授

（以上12名，敬称略，五十音順）

# 国立大学法人等施設の長寿命化に向けたライフサイクルの最適化に関する検討会

## 背景

- ・大学等施設については、施設整備をめぐる財政状況が厳しい中、戦略的な施設マネジメントと併せた老朽化対策により、既存施設の活用を基本としながら、教育研究施設としての機能強化・魅力向上を目指すことが求められている
- ・既存施設の活用にあたっては、従来のライフサイクルから長寿命化に適したライフサイクルへの転換と、それに適した改修や修繕等を計画的に実行するなど、施設にかかるトータルコストの縮減や平準化を図ることが必要

関連する  
国の計画等

科学技術イノベーション総合戦略2017

戦略的な施設マネジメントと併せた老朽化対策により、  
大学等の保有資産の魅力向上

未来投資戦略2017

大学保有資産の魅力向上・一層の有効活用に向け、  
施設の戦略的なリノベーションを行う

国立大学経営力戦略

確かなコスト意識と人・物・予算・施設利用等についての  
戦略的な資源配分構想を前提とした経営的視点が必要

インフラ長寿命化基本計画

中長期的なトータルコストの縮減や予算の平準化

## 検討事項

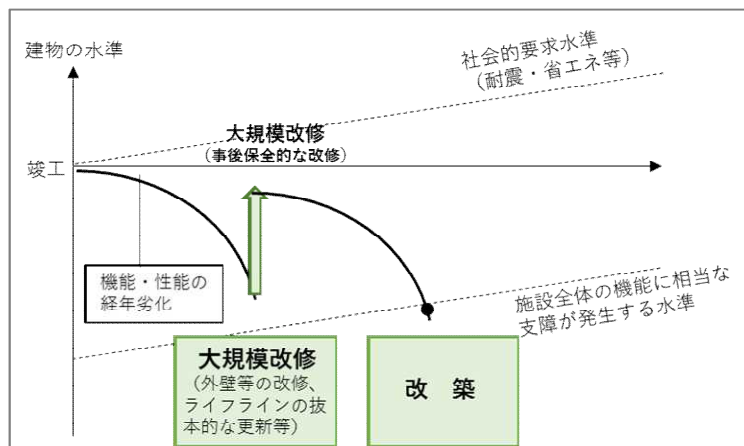
### 1. 施設の長寿命化に向けたライフサイクルの在り方

大学保有資産の魅力向上・一層の有効活用が求められるなか、これまで示してきた大学等施設の戦略的な施設マネジメントの考え方を踏まえ、計画的な老朽化対策の重要性を示すとともに、長寿命化に向けたライフサイクルの基本的な考え方について検討

### 2. 長寿命化に向けた維持管理の具体的な方策や留意事項

教育研究施設としての機能を確保しながら、各大学が実情に応じて改修や修繕等を実施するための具体的な方策や留意事項について検討 (例)施設の部位・部材の期待耐用年数やライフサイクルコスト、優先順位の考え方、コスト縮減策など

## 《参考:ライフサイクルの転換イメージ》



従来の  
ライフサイクル



長寿命化の  
イメージ

